

神楽は毎年1月と4月に
行われます

当神社は、欽明天皇六年
(五三七)十一月、蘇我稲目
によって創建されたと伝え

◎6世紀蘇我氏
によって創建



萩日吉神社の概要

られ萩明神と呼ばれていま
ました。その後、平安時代
初期に天台宗関東別院と
なった慈光寺一山鎮護のた
め、近江国現滋賀県比叡
山から日吉大神を勧請
合祀し、萩日吉山王宮に改
称したといわれています。
また、明治元年(一八六八)
十一月、神仏分離令の布告
により、再び萩日吉神社と
名称を改め、現在に至って
います。

◎神楽と社叢も 県指定の文化財

当神社には、流鏑馬のほ
かにも、神楽(無形民俗文
化財)と境内の社叢(天然
記念物)が、埼玉県文化
財に指定されています。神
楽は毎年二回奉納され、



神社入口にある児持杉

一月第三日曜日に小神楽、
四月二十九日に太々神楽
が行われます。このほか、
児持杉(天然記念物)と毎
年十月に奉納される西平・
上サ地区ささら獅子舞(無
形民俗文化財)が町指定の
文化財です。



流鏑馬は神社前 の特設馬場で

当神社の流鏑馬は、関係
者の皆さんの協力によって
当神社と町立萩ヶ丘小学校
の間の特設馬場で行われま
す。会場の馬場は、奥武蔵の
山懐に抱かれ、近くには氷川
の清流が流れています。こう
した雰囲気は、武蔵武士の面
影を伝える流鏑馬をいっそう
盛り上げてくれます。



- 交通のご案内
- JR八高線/明覚駅下車 町路線バス せせらぎバスセンター経由
「宮平」バス停下車、徒歩約5分
 - 関越自動車道/東松山ICより西平まで約30分(約16km)

◎流鏑馬についての問い合わせ先

萩日吉神社

〒355-0364 埼玉県比企郡ときがわ町大字西平1105番地
<http://homepage2.nifty.com/hagihiyoshi/> ☎0493-67-0119

ときがわ町観光協会(ときがわ町商工会内)

〒355-0342 埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川2475番地5
<http://www.kankoutokigawa.jp/> ☎0493-65-1283

ときがわ町教育委員会生涯学習課・町産業観光課

〒355-0361 埼玉県比企郡ときがわ町大字桃木32番地
<http://www.town.tokigawa.lg.jp/> ☎0493-65-1521

埼玉県指定無形民俗文化財

萩日吉神社 流鏑馬祭り



1月
第3日曜日



馬場を疾走する騎馬武者(タまとう)

萩日吉の森にこだまする 流鏑馬の大歓声

小正月の陽が西の空に傾く申の刻(午後3時)、萩日吉神社前の特設馬場は見物客がぎっしりです。いよいよ、やぶさめのクライマックスである「タまとう」が始まります。陣所の荷物をまとめ、明覚郷・大河郷の一行が、神官を先導に、弓持ち、矢取りっ子、的持ち、各苗代表、乗子(騎馬武者)が馬場に入ってきました。勇壮な一行の出現に見物客の心も知らず知らずの内に高まります。

まず、馬に馬場を見せる「バミセ」の後、ひき目と四方固めを行います。乗子は陣羽織を片袖脱いで、両郷とも1つの的に対し、矢の先をこつこつと3回当て、山王様・東・西・南・北・中央と数本の矢を射ます。この矢を手に入れるとその家族が1年間幸福になるといわれます。落ちて来る矢を取り合う見物客は大騒ぎ、そのたびごとに歓声が神社の森にこだまします。

やぶさめ 流鏑馬の由緒

流鏑馬は、馬を馳せながら、弓で的を射る行事で、中世武士の間で盛んに行われました。しかし、行事とはいっても、神社に奉納する神事的な色彩が強く、萩日吉神社の流鏑馬も、天福元年(1233)に木曾義仲の家臣7苗によって奉納されたことが始まりと伝えられています。その7苗とは、明覚郷(ときがわ町)の荻窪・馬場・市川氏、大河郷(小川町)の横川・加藤・伊藤・小林氏です。旧埼玉県立博物館の昭和63年の調査によると、ときがわ町の

クライマックスは タまとう

いよいよ、馬が疾走します。両郷とも、馬場を5回走ります。明覚郷は、第1回、第2回、第3回は3本の矢を持ち、一の的、二の的、三の的を射ます。大河郷は、1本の矢を持ち、1回目は一の的、2回目は二の的、3回目は三の的を射ます。1回終わるごとに、両郷の人々は、口々に「おめでとうございます」とあいさつを交わし、出発点に戻るたびに、四方固めを行います。

そして、第4回は疾走する馬上で、両手を交互に前後へ伸ばしたり、軍扇を広げたりします。最後に乗り払いを意味する「ノツバライ」を行い、鞭を投げ捨てて万歳をしながら走り抜け、見物客の大歓声の中、歴史絵巻再現の余韻を残しながら、馬場での一切の行事を終了します。

この間、両郷の矢取りっ子の男の子は、出発点から到着点へ、到着点から出発点へと介添え役に手を引かれながら、リリしく動き回り、見物客の心を和ませてくれます。

最後の行事が済むと、両郷は次回の再会を約し、再び朝来た道を引き返し、それぞれの郷へ帰ります。



りりしい矢取りっ子

周辺では、8カ所で流鏑馬が行われていたことが確認されました。それは、鳩山町大豆戸の三島神社、ときがわ町玉川の春日神社、嵐山町鎌形の八幡神社、小川町角山の八幡神社、同町大塚の八幡神社、越生町西和田の春日神社、毛呂山町岩井の出雲伊波比神社、日高市新堀の熊野神社です。

これらのうち、現在でも流鏑馬が継承されているのは、毛呂山町の出雲伊波比神社とときがわ町の萩日吉神社だけです。平成17年、その貴重さが認められ、当神社の流鏑馬は、埼玉県指定無形民俗文化財に指定されています。

やぶさめのコースと時間

日程やコースは、その年によって変わることもありますのでご注意ください

明覚郷

荻窪・馬場・市川氏



桃木・八幡神社

当番家を7時頃出発。途中、八幡神社などで、四方固め、ひき目の行事。

8時40分頃
到着

西平・滝の鼻公園下

8時50分頃
到着

明覚郷8時50分頃、大河郷9時頃到着。四方固め、ひき目、慈光寺遥拝の行事。

西平・宿・女人堂



女人堂

9時00分頃
到着

萩日吉神社

9時10分頃
到着



明覚郷陣場

両郷到着次第、陣馬へ幔幕を張り巡らす。9時30分～11時頃、例大祭執行。10時頃、朝まとう。出陣の用意終了後、神官を先導に両郷騎馬一行馬場へ向かい、馬を走らせ行事を執行。

朝まとう

10時00分頃
開始

神社参拝、交通安全祈願祭、鎮火祭、直会などを執行の後、14時頃から申の餅買いの行事。15時(申の刻)からタまとう。なお、神社ではこの間、縁起物の奉納猿(納め猿)を社殿で販売。



朝まとう

タまとう

15時00分頃
開始

タまとうが終わり次第、両郷は、来た道をそれぞれ帰ります。